日本キリスト教団 東金教会〔５〕

２０１８年２月４日 降誕節第６主日礼拝

年度目標　《繋がれて生きる》

聖　句　わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。　ヨハネ福音書１５章５節

【礼拝式次第】

司会		田村本島中田
奏楽		藤中澤中宮藤
受付		
案内		
名札		
礼拝		王
感謝	〃	
祈祷	〃	
前奏		中村
讃美歌	3	一同
信仰告白		〃
交読文	4	司・会衆同
主の祈り	564	一同
聖書	フィリピ書１：３〜６	司会者
祈祷		藤田
新聖歌	196	一同
み言葉の伝え		中村征一郎
［喜びをもって祈る］		
讃美歌	270	一同
聖餐式	配餐……	安延
		森川
	祈祷……	五木田
		岡部
讃美歌	205	一同
献金		
礼拝感謝		藤田
〃 〃		王
報告		藤田
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)		中村征一郎
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　2月7日(水)午後7時半〜
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会　2月11日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　2月11日(日)10:25-10:30

【報告】

☆週報棚に祈祷リストカレンダーが入っております。教会に繋がる方々のお名前が記されております。老いの身を養っておられる方、ご病床におられる方、深い試みの中におられる方、神からの導きを求めておられる方、ご家族のことで思い悩みを持たれている方等様々の状況に置かれている方々を覚え、お祈り下さい。
☆１月の献金報告が週報棚に入っております。ご覧下さい。
☆隠退教職方をお支えするための献金会計係を求めております。ご奉仕頂ける方は申し出下さい。
☆教会報「朱鷺が峯」編集発行に関し、関心をお持ちの方は中村牧師までお申し出下さい。
☆2月23日(金)教会学校生徒及び教会学校教師、幼稚園・保育園教師を中心に焼肉パーティーが予定されております。午後７時開始です。お肉200グラムの持ち寄りです。お時間のございます方はぜひご参加下さい
☆イースター(４月１日)に受洗希望の方は中村牧師まで申出下さい。

【分区・支区・教区報告】

○2/5 17:30 支区常任委員会　於・西千葉ch
○2/19・20支区教師研修会　於・鴨川G・H

【２月４日〜２月１０日の誕生者】

○石丸　姉　○田中　姉　○田中　兄
○藤田　姉　○宮路　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(1/28)	15	32	47
聖研祈祷会(1/31)	3	4	7
聖書輪読会(1/28)	3	4	7
教会学校(1/28)	9	10	19

早天祈祷会			
日	男	女	計
1/29	1	2	3
1/30	1	2	3
1/31	1	2	3
2/1	1	2	3
2/2	0	0	0

主日礼拝献金(1/28)……３４，１９４円
教会学校献金(1/28)……７，４５５円

【今日のメッセージ】

題　［喜びをもって祈る］
聖書　フィリピ書1:3〜6

1・わたしの神

2・度に

3・キリストの日まで

【次週(２月１１日)礼拝案内】

題　『見分ける目をもって』
聖書　フィリピ書1:7〜11
交読文　5
讃美歌　6番　２７６番
新聖歌　３８番

【次週(２月１１日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	中村征一郎
司式者	藤本
奏楽者	中里
受付者	今井
案内者	藤田
名札当番	安延
礼拝感謝祈祷	早乙女
〃 〃	寺内
csお話し	足立
会堂清掃者	岡部
〃 〃	深山
花係	岡戸
看板書き	波

【聖書から】

わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。
フィリピ書一章二節

パウロはここで、フィリピの信徒たちに対し、神の祝福を祈っている。そして、そこに示された神は、三位一体の神である。即ち、父なる神、御子であり、私達の主であるイエス・キリスト、そして目に見えずともこのお二人を我らに示し、そこから流出される祝福を我らのもとに持ち運ぶ聖霊なる神である。

ところで、神が、このように我らにもたらして下さる祝福はどのような祝福かと言うと、それは「恵み」と「平和」という祝福だとパウロは言う。「恵み」は我らの凡てを覆う祝福である、それは神が我らと共に居てくださるところからもたらされるものであり、彼を包み、彼がこの世にある限り、そして現世を突き抜けさせ、神の世界にまで彼を導き、そこに生きさせた下さる恵みである。なんという恵みだろうか。我らはその恵みを得たいと思う。世に生きることは容易なことではない。ときに何故このような、と思わされる試練も数多いし、そのような重圧に苦しんでいる人を見ると、まことに気の毒な思いに駆られるのである。けれども、このような試練がなるべく来ないのが幸いなのでなく、外界の試練が如何ようであれ、そこに神の恵みが共にあり、その恵みの岩が私たちを囲み、いかなる嵐にも耐えられることを教えられることこそ我らの幸いである。

次に「平和」について一言すれば、平和は神のものである。私たちが作り出せるものではない。だから何よりも私たち自身が神からの平和を知り、それを信じ、謙遜に受け止める者にならなければならない。外に平和を掲げ、内に自らの怒りに振り回される、それが私たちの現実である。だれしも矛盾なく平和を実現できる者はない。その事実を徹底的に教えられ、その弱さを知り、神からの和解の平和に生き、その平和をもって、世に立つ、それが求められるし、それが真の平和と思う。神から来る平和を信じ、受ける者となりたい

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。